



日出谷小だより

学校教育目標【明日をつくる日出谷の子】

「練習には、意味がある」

校長 須田 肇

何年か前にNHKで放送され、当時子供たちに人気があったアニメの話をご紹介します。

主人公はサッカーセンスがとびぬけていて、中学時代は自分がボールを支配して試合を進めていました。その後、名門のユースチームに所属することになったのですが、個人技や戦術理解に課題があり、基本中の基本である「ボールを止めて蹴る」の特訓をすることになってしまいました。しかし猛練習をしてもなかなか成果が出ません。彼は、「止めて蹴る」の意味を理解しないまま、ただ「止める」ということを目的として練習をしていたのです。

しかし、ある瞬間に「止める」の意味は、『次の動作を見据えてのものだということ、あくまでも次の「蹴る」というプレーを瞬時にするための手段だということ』に気付いたので、それに気付いた彼から表題の言葉が発せられます。

『ボールをきちんと止めるってことは…、ここまで大事なことやったんか。だって、それが分かっただけで…、こんなにも「サッカー」がひろがった！』、『すべての練習には意味がある。意味を理解して、あとはとにかく反復練習、何度も…！』

「自分でつかんだものは一生忘れない、考え続けろ！」それが特訓を指示したコーチの思いだったので。



このテーマは、「自分で考え、課題を解決していく」ことです。これは、教育の目的にも通じます。自分の目的（課題）設定の大切さ、目的達成（課題克服）のために粘り強く考えること。さらに分かったことを言語化（表現）して自分のものにする。言語化することによって感覚的だった捉えが、より意味のある確かな理解となり自分のものになるのです。

本校では上記のような学習方法として、問題解決型学習を多く取り入れています。自分の生活の中で「自分で考え、課題を解決していく」ことができるように、その基礎・基本を身につけているところです。日出谷小の子供たちも、この主人公のように「自分で解決し、自分の力にできた」という喜びを味わってほしいと願いながら、日々指導していきます。

学年費・教材費引き落とし口座の残高が不足しないようお願いします

毎月5日に、上記費用等が各ご家庭の口座から引き落とされます。その際に、残高不足で引き落としができないことが多く生じております。教材費等が足りないと、各業者への支払いや校外行事の支払いができません。また、現金を長期間学校にとどめておくことが禁止されており、その都度郵便局等に入金に行くことによって、校内業務にも影響が出てくる場合もあります。

特に校外行事では、個人分の費用の詳細計算や事前の入金、行事直後の支払いを行わなくてはならない場合が多く、対応が困難になっております。どうぞ上記事情をご理解いただきますようお願いするとともに、確実な口座引き落としのご協力を重ねてお願いいたします。